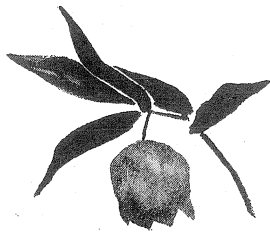


# 文化庁月報



1986-4

No. 211

## 【表紙】

馬

(鈴木 治作)

解説は30ページ

題デザイン・桑山弥三郎

カット・林美紀子

# もくじ

ハクチョウの島をつくる

吉川 繁男 4

地域博物館のあり方について

和田 邦平 6

名勝紹介シリーズ①(新シリーズ) 10  
浄土庭園

国立美術館新館長ごあいさつ 12

## 展覧会紹介

黄河文明展 東京国立博物館 14

天皇陛下御在位六十年記念無料観覧のお知らせ 15

4月・5月展覧会紹介 15

## 文化庁ニュース

- ・重要有形民俗文化財の指定等 16  
—文化財保護審議会の答申—
- ・重要文化財(美術工芸品)の指定 19  
—文化財保護審議会の答申—
- ・史跡の指定等 20  
—文化財保護審議会の答申—
- ・昭和61年芸術家国内研修員決まる 22
- ・移動芸術祭春季公演計画 22
- ・昭和60年度文化庁優秀映画及び子ども向けテレビ用優秀映画製作奨励金交付作品決まる 23

報 昭和60年度文化庁日誌 24

告 昭和60年度文化庁月報総目次 26

〈資料〉特別名勝指定地一覧 29

文化庁行事報告及び予定 30

国立劇場ニュース 31

# 天皇陛下御在位六十年記念無料観覧のお知らせ

天皇陛下御在位六十年を記念し、本年4月29日に、文化庁所管の下記施設の無料公開を行います。

東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	東京国立近代美術館	国立西洋美術館	国立国際美術館	奈良国立文化財研究所飛鳥資料館
4月29日(火)	4月29日(火)	4月29日(火)	4月29日(火)	4月29日(火)	4月29日(火)	4月29日(火)
※平常展及び共催展(比叡山と天台の美術)	平常展及び特別陳列(丹後・金剛院の仏像)	平常展及び特別展(平安仏画)	※平常展及び共催展(松本竣介展)	平常展	企画展(ニューヨーク・アート・ナウ展)	特別展示(飛鳥寺展)
※共催展については、小中学生のみ無料(平常展のみの観覧は、全員無料)			※共催展については、小中学生のみ無料(平常展のみの観覧は、全員無料)			

## 4月・5月 展覧会紹介

### 比叡山と天台の美術

東京国立博物館

3月18日(火)～5月5日(木)

京都国立博物館

5月20日(火)～7月6日(日)

昭和62年の最澄(伝教大師)の比叡山開創一二〇〇年を記念し、全国の天台宗諸寺院ならびに博物館・美術館の所蔵する大師および、比叡山に関する絵画・彫刻・書跡・工芸の名品を約二〇〇件に及び紹介・鑑賞していただくものである。

### 特別陳列 丹後・金剛院の仏像

京都国立博物館

4月8日(火)～6月29日(日)

多くの文化財を伝える古刹として著名な京都府舞鶴市東方山中の金剛院の現在に至る歴史の実態を把握してもらうことを目的に構成している。今回は重文指定の彫刻・絵画・縁起・古文書、又その他関連資料を展示している。

### 松本竣介展

東京国立近代美術館

4月5日(土)～6月15日(日)

昭和23年、わずか36歳でこの世を去り、いまだ謎めいた魅力を放ちつづける松本竣介の芸術の全貌を公開するものである。油彩約140点、水彩素描約110点で構成される本格的回顧展である。

### ニューヨーク・アート・ナウ展

国立国際美術館

4月12日(土)～5月13日(火)

一九八〇年代に入り、世界各地の美術界で、いわゆるニュー・ペインティングの現象が多発的に起つてきた。ここ数年はイースト・ビレッジを中心に若いアーティストらが今日の社会状況を鋭く反映した創作活動をつづけている。ここでは、ここに活躍する93人の絵画・彫刻・写真など八〇年代の作品123点を一挙に公開している。

# 国立劇場ニユース

◆五月文楽公演（小劇場）

〈第一部〉12時 〈第二部〉5時

通し 狂言 伊賀越道中双六

5月10日（土）～25日（日）

寛永十一年（一六三四）伊賀上野で岡山藩士、渡辺数馬が弟の仇河合又五郎を討ち、この時助太刀した荒木又右衛門の名は全国に知れわたった。この仇討は、曾我の仇討、赤穂浪士の仇討とともに三大仇討の一つに数えられ、多くの戯曲に脚色されている。

先に歌舞伎で大評判になった奈河亀助作の「伊賀越乗掛合羽」を近松東南が浄瑠璃に脚色し、同じ名題で安永六年（一七七七）三月豊竹此吉座で上演されたが、これを土台にして近松半二近松加作が十段つづきの時代物に書き改めたのが本作である。芝居や浄瑠璃では実名そのままでは上演できないので、荒木又右衛門↓唐木政右衛門、渡辺数馬↓和田志津馬、渡辺源太夫↓和田行家、河合又五郎↓沢井股五郎、河合甚左衛門↓桜田林左衛門、松平忠明↓菅田大内記、虎屋九左衛門↓呉服屋十兵衛、安藤治右衛門↓沢井城五郎というようにかえてあり、世界を足利時代にとり、弟の仇を父の仇にかえていく。半二は「乗掛合羽」をもとにしつ

つも、全く構想をたてなおして書いており、この興業直前に亡くなり絶筆となつてしまつた。特に五段目政右衛門屋敷、六段目沼津、八段目岡崎がヤマ場で、「沼津」は名曲として知られ、単独でもよく上演されている。この「沼津」は新たに加えられたところで、「乗掛合羽」で端役であつた呉服屋十兵衛が重要な人物となり、平作なども入れて改作とはいへ半二の脚色の真髓をうかがうことができる。見どころは、この五、六、八の各段で、「政右衛門屋敷」



沼津の段

は「饅頭娘」と呼ばれ、七歳の花嫁が、饅頭をほしがりあやすところがおもしろく、「沼津」は幼い頃わかれ久々に対面した親子、兄妹の義理人情描写が見事であり、千本松原で平作が命を捨て敵の居所を聞き出すところは哀れで涙をさそう。「岡崎」は昔の師弟幸兵衛と政右衛門が対面して、互いに心の底を明かさぬやりとりや仇討の目的のため病に苦しむ女房を雪の表へ追い出し、

我が子を殺す苦衷の表現など難しいところが多く大曲とされている。また「新関」はチャリ場でのしく、遠眼鏡でのぞき見る趣向で景事団子売が挿まれ変化に富んだ構成で観客をあきさせない。

大夫、三味線、人形、三位一体となつた舞台を堪能されるであろう。

その他の公演へ5月

■舞踊公演（大劇場）

曾我狂言舞踊集30日・6時/31日・2時

■演芸（演芸場）

上席 1日～10日・1時（土曜のみ）

中席 11日～20日・1時（1時・5時半）

花形若手演芸会 21日・1時

国立名人会 24日・1時

漫才さつき祭り 31日・1時

■能楽（千駄谷・能楽堂）

定例公演 7日・1時

（狂）舟ふな・頼政 16日・6時半

（狂）茶壺・一角仙人 10日・1時半

普及公演 23日・6時半

（狂）苞山伏・藤 23日・6時半

狂言の会 23日・6時半

通円・文荷・業平餅 23日・6時半

■文楽劇場（大阪・日本橋）

明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会 23日・6時/24日・2時

詳細につきましては左記へお問合せ下さい  
○三二二六五七四一（大劇場・小劇場・演芸場公演）  
○三二二六五七四二（能楽堂公演）  
○三二二六五七四三（文楽劇場公演）

## 編集後記

○六十一年度予算は四月四日に成立し、新年度が始まりました。

文化庁にとっては、今年には三浦長官の提唱になる国民文化祭の門出の年であり、職員一同心をひきしめて仕事に取り組んでまいります。

御支援の程よろしく願ひ致します。○四月一日付で、国立美術館館長の異動がありました。

新館長の新任ごあいさつにありませうに、現在我が国の美術館、博物館がかかえている課題—例えば専門スタッフの養成と資質の向上、情報ネットワークの整備等は、まさに文化行政が当面している課題でもあります。

これらの課題をどのように解決していくかも、今年度の文化庁に課せられた宿題の一つと考えています。（S）

広告の問合せ・申込み先

株式会社 ぎょうせい 営業課  
TEL(〇三)二六八一二四二(代表)

「文化庁月報」四月号

（通巻第二一〇号）  
昭和61年4月25日印刷・発行

編集 文化庁

発行所 株式会社 ぎょうせい

〒100東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

本社 〒104東京都中央区銀座7丁目4番12号

営業所 〒162東京都新宿区西五軒町52番地

電話 (〇三)二六八一二四一(代表)

振替口座 東京 九一六一番

印刷所 (株)行政学会印刷所

年間購読料 一八〇円(送料四五百円)  
二、一六〇円(送料共)